

流山市立新川小学校  
校長 長谷川 伸一

### 令和3年度学校評価調査の結果について

このことについて、以下のようにまとめましたのでお知らせいたします。本年度から児童にも調査をすることとし、設問項目の検討をしましたので、昨年度のほぼ同内容の設問に対する結果については括弧づけで提示し、設問自体がなかったものは斜線で示しています。なお、数値は、4段階評価の数値の平均となっています。

#### 1 学校について

番号	項目	保護者		児童		教職員	
		昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度
1	学校は、教育方針や教育活動をわかりやすく説明している。	(3.44)	3.07	/	/	(3.50)	3.45
2	学校行事は、それぞれ充実し、教育効果を上げている。	(3.24)	3.00	/	/	(3.50)	3.48
3	学校は、いつもきれいに整理・整頓されている。	(3.48)	3.13	/	2.75	(3.49)	3.09
4	学校は、子どもの安全を守るために努力している。	(3.57)	3.26	/	3.61	(3.50)	3.64
5	学校は、いじめ防止のための取り組みを適切に行っている。	/	2.91	/	3.27	/	3.55

#### 2 児童について

番号	項目	保護者		児童		教職員	
		昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度
1	お子様は、明るく健康的な小学校生活を送っている。	(3.71)	3.39	/	3.55	(3.49)	3.55
2	お子様は、前向きに学習し、学年にふさわしい学力が身についている。	(3.24)	3.06	/	3.39	(3.45)	3.30
3	お子様は、けじめある生活をしている。(あいさつ、言葉遣い、時間を守る等)	(3.00)	2.88	/	3.31	(3.23)	3.16
4	お子様は、友達に対して思いやりがあり、仲良くしている。	(3.51)	3.17	/	3.53	(3.44)	3.34
5	お子様は、情報端末(タブレット等)を有効に活用して学習に取り組んでいる。	/	2.80	/	3.48	(3.50)	3.38

#### 3 家庭・地域との連携について

番号	項目	保護者		児童		教職員	
		昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度
1	学校は、家庭や地域への連絡や情報提供を積極的に行い、学校の教育活動に活かしている。	(3.38)	3.11	/	/	(3.50)	3.55
2	学校教育活動に、地域の環境や人材が活かされている。	(3.37)	3.07	/	/	(3.50)	3.47

#### 4 職員について

番号	項目	保護者		児童		教職員	
		昨年度	今年度	昨年度	今年度	昨年度	今年度
1	教職員は、子どもたちや保護者の相談や悩みごとなどに適切に対応している。	(3.32)	3.07	/	3.61	(3.50)	3.61
2	教職員は、学習指導について着実に力をつけようと努力している。	(3.46)	3.08	/	3.46	(3.50)	3.67
3	教職員は、子どもたち一人一人の特性に応じた配慮や支援をしている。	(3.30)	3.07	/	3.59	(3.50)	3.61

#### 【学校評価への考察】

調査の結果から、全15項目のうち11項目は、保護者・児童・教職員全ての平均が3以上と概ね良好であり、昨年度に引き続き、コロナ禍でできる限りの学校行事を編成し、行ってきた教育活動について、一定の評価をいただいたと考えております。しかしながら、今年度の学校体制や学校行事、教育環境、指導内容について、いくつか改善の余地があることもわかりました。改善が必要な項目については早速検証し、今後の学校教育目標達成に向け、教職員一丸となって取り組んでまいります。御協力ありがとうございました。

- 項目1-3について、児童が集中し、気持ち良く過ごせる学習環境作りをすすめるため、ユニバーサルデザインの視点を大切に教室環境を整えると共に、共用の場所の使用ルールやマナーについても、指導を継続してまいります。施設面では体育館及びプールトイレの洋式化工事等が行われたものの、校舎の老朽化に伴う窓枠サッシの歪みや各所の雨漏り、不具合等については、その都度修繕を要望している状況です。引き続き、施設設備の改善を要望していくとともに、安全面での不安がないように点検を確実に行ってまいります。
- 項目1-5について、いじめ問題に迅速かつ組織的に対応するために、いじめに対する認識をあらためて全職員で共有します。また、本校のいじめ防止基本方針を今一度見直し、児童も主体的に関わりながら、いじめの未然防止・早期発見・早期対応ができる体制作りをすすめてまいります。また、項目4-1とも関わりますが、相談窓口の周知に努め、学校・家庭・地域・関係機関の連携強化を図ります。
- 項目2-3について、学校生活において、「あいさつ、言葉遣い、時間を守る」等、社会の中で人と関わるうえでの大切な資質を身につけることについて、更なる成長が望まれています。日常生活指導のみならず、小規模特認校である本校の特色とも言える地域の方々との交流の場も生かしながら、向上を目指します。
- 項目2-5について、本年度より、GIGAスクール構想による児童1人1台のタブレット端末を用いた学習が始まりました。本校では、日常的にタブレットやICT機器を活用し、見える形で全員の意見の共有をするなど、学びを深める授業作りに取り組んでいます。活用の様子を知っていただけるよう周知の機会を確保すると共に、児童の学習意欲を高め、充実した学校教育を実践していくための教育課程の編成、改善をすすめてまいります。